2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　monoAI　technology株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5240　　ＵＲＬ　https://monoai.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）本城　嘉太郎
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）松岡　壮　　ＴＥＬ　03（6273）2753

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	428	△49.1	△377	－	△353	－	△364	－
2025年12月期第３四半期	842	△23.1	△233	－	△226	－	△176	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△364百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　△176百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△29.72	－
2025年12月期第３四半期	△14.36	－

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	990	859	86.8
2025年12月期	1,415	1,224	86.5

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　859百万円　2025年12月期　1,224百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	△38.8	△476	－	△451	－	△469	－	△38.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	12,285,620株	2025年12月期	12,264,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	ー株	2025年12月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	12,267,406株	2025年12月期３Ｑ	12,261,889株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、インバウンド増加と国内需要の回復による社会経済活動の正常化が進み、緩やかに回復してまいりました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、物価の高騰を背景とした生活防衛意識の高まりなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは「先進技術で社会の未来を創造する。」を企業理念に掲げ、オンラインゲーム開発で培った大規模通信技術とAI技術をコアとして、あらゆる産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援するXR事業を展開しています。メタバースプラットフォーム「XR CLOUD」をOEM提供し、クライアント独自のメタバースを構築するメタバースサービス、「XR CLOUD」上で社内イベントや展示会、各種カンファレンス等のクライアントの要望に沿った多様なイベントを企画・制作・運営するXRイベントサービス、「XR CLOUD」に限らずXR全体の幅広いニーズに応えるXR周辺サービスを提供してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高428,725千円（前年同四半期比49.1%減）、営業損失377,755千円（前年同四半期は営業損失233,482千円）、経常損失353,051千円（前年同四半期は経常損失226,953千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失364,536千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失176,045千円）となりました。

なお、当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は990,779千円(前連結会計年度末比424,555千円減)となりました。

流動資産は928,886千円(前連結会計年度末比418,792千円減)となりました。主な増減要因は、「現金及び預金」が515,924千円減少したこと、一方で「売掛金及び契約資産」が100,280千円増加したことによるものであります。

固定資産は61,893千円(前連結会計年度末比5,763千円減)となりました。前連結会計年度末に引き続き、固定資産の減損処理を行っております。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は131,012千円(前連結会計年度末比60,124千円減)となりました。

流動負債は125,412千円(前連結会計年度末比28,823千円減)となりました。主な減少要因は、「賞与引当金」が13,481千円減少したことと、「その他流動負債」が44,929千円減少したこと、一方で「資産除去債務」の計上区分を固定負債から流動負債に変えたことにより23,485千円増加したことによるものであります。

固定負債は5,600千円(前連結会計年度末比31,300千円減)となりました。減少要因は、「長期借入金」が8,000千円減少したこと、「資産除去債務」の計上区分を変えたことで、23,300千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は859,767千円(前連結会計年度末比364,431千円減)となりました。主な減少要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を364,536千円計上したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当第３四半期連結会計期間末は86.8%であります。また、支払い能力を示す流動比率は、740.7%となっております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年２月13日に開示の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から修正しております。

詳細につきましては、2026年11月13日開示の「2026年12月期の通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2025年12月期において、３期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。また、継続的な営業キャッシュ・フローのマイナスも計上しております。加えて、当第３四半期連結累計期間においても営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しております。当該事象により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消するため当社グループは、創業社長の本城嘉太郎が代表取締役社長に復帰する新経営体制へ移行し、収益獲得の拡大および早期の営業黒字化に向けた構造転換を強力に推進しております。具体的には、2025年12月

期に実施した不採算事業の整理や内製化の徹底、販管費の抑制といったコスト構造改革により、収益基盤の整備に一定の目途が立ちました。2026年12月期においては、これを基盤として、独自開発のAIエージェント基盤「monoAI Agent」を核とした「産業AXソリューション」の外部販売を第１四半期より開始しており、高付加価値なサービスの提供を通じた売上総利益率の向上とトップラインの回復に注力してまいります。また、新たな事業として、既存の当社の技術基盤を活用できる「フィジカルAI（ロボティクス）」領域への本格参入をいたしました。今後研究開発を進め、安定的な収益構造の確立を目指してまいります。

なお、資金繰りについては、現金及び預金残高は672,979千円と十分であることに加え、取引金融機関とは良好な関係を維持しており、今後１年間の資金繰りに懸念はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないと判断しております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,903	672,979
売掛金及び契約資産	109,206	209,486
仕掛品	1,165	4,873
その他	48,403	41,547
流動資産合計	1,347,678	928,886
固定資産		
投資その他の資産		
その他	67,656	63,114
貸倒引当金	－	△1,221
投資その他の資産合計	67,656	61,893
固定資産合計	67,656	61,893
資産合計	1,415,335	990,779
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,751	6,845
１年内返済予定の長期借入金	9,600	9,600
未払法人税等	4,126	8,724
未払消費税等	1,591	－
賞与引当金	13,481	－
資産除去債務	－	23,485
その他	121,685	76,755
流動負債合計	154,235	125,412
固定負債		
長期借入金	13,600	5,600
資産除去債務	23,300	－
固定負債合計	36,900	5,600
負債合計	191,136	131,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,011	50,064
資本剰余金	1,510,319	1,510,372
利益剰余金	△336,159	△700,695
株主資本合計	1,224,171	859,741
新株予約権	27	25
純資産合計	1,224,199	859,767
負債純資産合計	1,415,335	990,779

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自2025年１月１日 至2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自2026年１月１日 至2026年９月30日）
売上高	842,547	428,725
売上原価	543,428	296,979
売上総利益	299,118	131,745
販売費及び一般管理費	532,601	509,501
営業損失（△）	△233,482	△377,755
営業外収益		
受取利息	2,111	2,918
受取家賃	4,721	3,292
補助金収入	－	18,913
その他	296	65
営業外収益合計	7,129	25,190
営業外費用		
支払利息	600	319
消費税差額	－	167
営業外費用合計	600	487
経常損失（△）	△226,953	△353,051
特別利益		
関係会社株式売却益	83,474	－
特別利益合計	83,474	－
特別損失		
減損損失	28,999	8,339
特別損失合計	28,999	8,339
税金等調整前四半期純損失（△）	△172,477	△361,391
法人税、住民税及び事業税	3,568	3,144
法人税等合計	3,568	3,144
四半期純損失（△）	△176,045	△364,536
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△176,045	△364,536

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自2025年１月１日 至2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自2026年１月１日 至2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△176,045	△364,536
四半期包括利益	△176,045	△364,536
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176,045	△364,536
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,584千円	594千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。